

会 議 録

| | | | | | | |
|--------------------|-----|--|----|------|------|-----|
| 会議名 (審議会等名) | | 第 3 2 回 相模原市地域包括支援センター運営協議会 | | | | |
| 事務局 (担当課) | | 保険高齢部地域包括ケア推進課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 9 2 3 1 (直通) | | | | |
| 開催日時 | | 令和元年 7 月 1 1 日 (木) 1 3 時 3 0 分 ~ 1 5 時 1 5 分 | | | | |
| 開催場所 | | ウェルネスさがみはら 3 階 集団指導室 | | | | |
| 出席者 | 委員 | 1 7 人 (別紙のとおり) | | | | |
| | その他 | | | | | |
| | 事務局 | 6 人 (保険高齢部長、地域包括ケア推進課長ほか 4 人) | | | | |
| 公開の可否 | | 可 | 不可 | 一部不可 | 傍聴者数 | 0 人 |
| 公開不可・一部不可の場合は、その理由 | | | | | | |
| 会議次第 | | 1 開会 2 議題 (1) 高齢者支援センター運営状況等について 平成 3 0 年度業務実績 平成 3 0 年度事業評価及び令和元年度事業計画 介護予防ケアプランの公正中立性の評価 平成 3 0 年度収支決算 令和元年度収支予算 職員の状況について (2) 高齢者支援センター事業評価制度の見直しについて (3) 地域包括支援センター公募の実施について 3 閉会 | | | | |

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員の発言、 は事務局の発言)

- 1 開会
- 2 議題 会長の進行により、議事が進められた。
 - ・事務局より資料に基づき説明を行った。

【主な質疑】

- (1) 高齢者支援センター運営状況等について

平成30年度業務実績

地域介護予防事業について、開催回数が横ばいとの説明があったが、介護予防事業回数などは回数を増やし、充実していく必要があるのではないか。

地域介護予防事業は、平成28年度に事業の見直しを行い、参加者への継続的な支援に重点を置くように変更した。教室の開催回数を減らす代わりに継続的な活動や自主グループ化につなげる支援に取り組んでいる。

平成30年度事業評価及び令和元年度事業計画

認知症に関する対応について、市職員への研修は実施されているのか。

市職員への研修については、市長部局の半数近くの職員(延べ約2千人)が認知症サポーター養成研修を受けているので、今後、全ての職員が養成研修を受講することについて、検討していきたい。また、高齢者支援センター職員に対しては、認知症対応力向上研修を実施(平成29年度から)している。

高齢者支援センターの評価について、複数の項目で評価しているが、成果があがらなかったと評価しているセンターに偏りはあるか。

偏りはない。また、各高齢者支援センターの評価内容については、センター長ヒアリングで、成果が上がらなかった項目などについて確認しており、必要な場合は個別に指導・助言などを行っている。

認知症サポーターの活用については、どう考えているか。現在、サポーターが高齢者支援センターで活動するような場があるのか。

認知症サポーターが高齢者支援センターで直接活動する機会はないが、サポーター養成講座で講師役を務めるキャラバン・メイトとして登録し、センターの要請なども受け活動を行っている。(また、高齢者支援センターの職員の多くがキャラバン・メイトになっている。)なお、サポーターの養成は平成18年より行い、延べ4万人を養成しているが、個人情報等の管理等が難しく、登録や把握はできていない。

昨年度の支え手帳の発行数は61冊とあるが、目標を達成したのか。また、支え手帳は支援者側からも有効な支援ツールと感じているので、今後も積極的な利用を進めてほし

い。

支え手帳については、対象者とその家族のほか、対象者に関わる医療や介護の関係機関へ説明を行い、丁寧な対応をした上で発行してきた経過がある。そのため発行部数は多くないが、目標は達成している。また、モデル事業として、大野中地区で認知症以外の人にも活用してもらう取組を行っている。

介護予防ケアプランの公正中立性の評価

平成30年度収支決算

令和元年度収支予算

平成30年度から平成31年度には職員定数が増えているが、収支予算では人件費が減額となっているが問題はないか。

センター職員の在籍年数を見ると、5年未満の経験年数の短い、比較的若い職員が多いことなどから予算上の人件費が減になっているが、定数は確保しており、センターの運営については特段の問題はないと考えている。

(2) 高齢者支援センター事業評価制度の見直しについて

参考資料1の国の評価指標を見ると、包括的・継続的ケアマネジメント支援の部分が国の評価より低いところがあるが、その背景やこの結果を踏まえての市の対策について教えてほしい。

国の評価結果から、本市でも包括的・継続的ケアマネジメント支援に課題があると認識しており、昨年度高齢者支援センターにアンケート調査を実施した。これらを踏まえ、今年度のセンター職員研修において、包括的・継続的ケアマネジメント支援について取り上げ、強化していく予定である。

第三者による評価の方法について、具体的にどのように行うのか。

今回お示した令和元年度の評価方法について、今後より詳細な進め方を外部有識者に相談していく。平成30年度の国の評価結果が出た後に、区ごとに外部有識者による評価を行い、高齢者支援センターの強みや弱みを明らかにし、機能強化に向けた取組を行っていききたい。

(3) 地域包括支援センター公募の実施について

質疑なし

3 閉会

以上

相模原市地域包括支援センター運営協議会委員名簿 令和元年7月11日開催

| | | 氏 名 | ふりがな | 選 出 団 体 等 | 出欠 |
|----|-----|--------|------------|------------------------|----|
| 1 | 委員 | 油谷 和子 | あぶらたに かずこ | 神奈川県看護協会相模原支部 | 欠席 |
| 2 | 委員 | 石黒 雄彦 | いしぐろ たけひこ | 相模原市老人クラブ連合会 | 出席 |
| 3 | 委員 | 木村 俊明 | きむら としあき | 公募市民 | 出席 |
| 4 | 委員 | 木村 徳泰 | きむら のりやす | 日本労働組合総合連合会 相模原地域連合 | 出席 |
| 5 | 委員 | 小林 立 | こばやし りゅう | 相模原市高齢者福祉施設協議会 | 出席 |
| 6 | 副会長 | 小山 聡 | こやま さとし | さがみはら介護支援専門員の会 | 出席 |
| 7 | 委員 | 鈴木 英之 | すずき ひでゆき | 相模原市社会福祉協議会 | 出席 |
| 8 | 委員 | 高澤 厚子 | たかざわ あつこ | 神奈川県社会保険労務士会 相模原支部 | 出席 |
| 9 | 委員 | 田所 利一 | たどころ としかず | 公募市民 | 出席 |
| 10 | 委員 | 田中 雄一郎 | たなか ゆういちろう | 相模原市歯科医師会 | 出席 |
| 11 | 会長 | 陳 勁一 | ちん けいいち | 相模原市医師会 | 出席 |
| 12 | 委員 | 天明 信子 | てんみょう のぶこ | 相模原市民生委員児童委員協議会 | 欠席 |
| 13 | 委員 | 富樫 るみ | とがし るみ | 友知草の会 | 出席 |
| 14 | 委員 | 原田 裕也 | はらだ ゆうや | 神奈川県弁護士会相模原支部 | 出席 |
| 15 | 委員 | 久松 信夫 | ひさまつ のぶお | 学識経験者 | 出席 |
| 16 | 委員 | 福本 容子 | ふくもと ようこ | 公募市民 | 出席 |
| 17 | 委員 | 舟戸 麻衣 | ふなど まい | 日本公認会計士協会神奈川県会 | 欠席 |
| 18 | 委員 | 穂苅 健二 | ほかり けんじ | 相模原市自治会連合会 | 出席 |
| 19 | 委員 | 松岡 一美 | まつおか かずみ | 神奈川県社会福祉士会相模原支部 | 出席 |
| 20 | 委員 | 三木 香乃 | みつぎ かの | 相模原市介護老人保健施設協議会 | 出席 |

* 五十音順